

令和5年度 学校経営について HP 用

柏市立富勢小学校

(創立124年目 S54 富勢東小分離 S58 富勢西小分離)

1 学校教育目標 (コミュニティ・スクール3校共通) 富勢CS 4年目

★赤字今年度の改善・重点・強化項目

自ら学び、心豊かに、たくましく生きる富勢の子の育成

「みんなが幸せを感じる学校」

《めざす児童像》 ともに楽しく みんなでのびる せいっぱい心を込めて

- (知) 知識や**体験を通して、根気よく学ぼうとする児童**
- (徳) 自分も相手も大切にし、**互いに認め合う児童**
- (体) 心身ともにたくましく、**正しい判断ができる児童**

《めざす教職員像》

富小教師心得

- 児童や保護者から信頼される教職員
 - ・ **児童理解を深め、児童に寄り添える教職員**
 - ・ **共に学び、共に遊び、共に考える教職員**

あ 明るい挨拶
い いつも元気に
う 上を向いて
え 笑顔いっぱい
お 思いを伝える

《めざす学校像》

- 地域とともにある信頼される学校
 - ・ **安心、安全、きれいな学校**
 - ・ **挨拶が交わせる学校**
 - ・ **明日も行きたいと思える学校**

2 経営の基本方針

☆ 3つの保障 児童へ … 安全・学習・人権

☆ 2つの指導 職員へ … 児童に寄り添うこと・子どもを主人公に

☆ 1つの約束 保護者・地域へ … 児童を共に育てる

《 6年間を見すえた児童の育成 “4つのステージ” 》

- ① 1年生 … 小学校に慣れる段階
- ② 2～3年生 … 小学校での基礎を身につける段階
- ③ 4～5年生 … 小学校での応用を求める段階
- ④ 6年生 … 小学校の総まとめであり、中学校への足がかりにする段階

3 経営の重点項目

- (1) 6年間を見すえた子供を育てる取組の充実
 - 〈4つの柱〉学習指導・生徒指導・特別支援教育・**体力向上**
- (2) 学ぶ意欲を引き出し、学習姿勢づくりをめざした指導の充実
- (3) 全職員の協働による安心・安全な学校づくり
- (4) 全職員の意欲につながる働き方改革の推進
- (5) 地域と連携したコミュニティ・スクール (以下「CS」) への取組

4 経営の努力事項

(1) 学習指導の充実 … 『学ぶ意欲を引き出す・**諦めない探究**』

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に取り組む。
- ② G I G Aスクール構想の下、効果的な学習方法の実践に努める。
- ③ 教科の基礎的、基本的な内容を明確にし、確実な定着に努める。
- ④ 学ぶ意欲を引き出すための指導方法の工夫と継続に努める。
 - ・低及び中学年…計算領域における反復練習 **※算数指導教員配置**
 - ※1, 2, 3年生…ステップアップ学習会の継続**
 - ・高学年…学習機会の工夫
 - ※6年生…柔軟性のある教科担任制による授業**
 - ※県立柏高校生徒の協力による夏休み算数教室**
 - ※3～6年生…県立柏高校の協力による書き初め指導**
- ⑤ **校内研修**による効果的かつ継続的な取組に努める。
- ⑥ **柏市配置職員と連携した授業の工夫**及びICT機器の活用を推進することで、児童の意欲的な学習姿勢づくりに努める。
 - ・図書館指導員…読書活動の工夫から、児童の興味・関心を高める取組
 - ・理科教育支援員…確実な授業準備と児童の興味・関心を高める取組
 - ・**算数指導教員**…個別指導の充実と児童の興味・関心を高める取組
 - ・低学年支援教員…1, 2年生の学習支援、個別指導の充実
- ⑦ 外国語科及び外国語活動、プログラミング学習への意欲的な取組に努める。
- ⑧ 発達段階に応じた基本的な学習習慣（家庭学習も含む）づくりに努める。
- ⑨ **生活科や総合的な学習、キャリア教育と連動し地域学習に取り組む。**

(2) 生徒指導の充実 … 『実践力を引き出す』

- ① 児童自らが問題行動を未然に防止することができることをめざした積極的な指導を生徒指導主任中心に、全教職員の共通理解の下に推進していく。
 - ・「報告・連絡・相談」体制の確立と組織的な対応
 - ・効果的な「褒め方」と「叱り方」の共通理解
 - ・**創意工夫ある『あじみ運動』と課題に向き合った効果的な取組の実践**
- ② 日々、児童理解に努めながら集団不適応やいじめ、不登校等の問題について、早期発見、早期対応に努める。

※「富勢小の子は素直で、子供らしい」⇒ どのように向き合い、成長につなげるか。

◎学校評価からみて

- ・無回答が多い、あきらめる、考えを文章で書くのが苦手
- ・意見を言う、意見を聞く、意見を変える

- ③ 保護者との連携を重視し、教育相談体制の充実を図る。
 - ・教職員による相談、スクールカウンセラーや外部教育相談機関の活用等
- ④ **学校運営協議会**を活用し、学校・家庭・地域との連携を図りながら、児童に健全な生活習慣を身につけさせる。
- ⑤ **長期欠席児童の日常生活と学習状況の確認** **いつも心をつないでいること**

PS教室の活用「仮称 Challenge スクール」

(3) 特別支援教育の充実 … 『どの子にもある可能性を引き出す』

- ① **特別支援教育及び特別支援学級への理解**に努め、どの子も伸びる特別支援教育の実践に努める。**研修会の位置づけ**
 - ※「べき論」にとらわれず、「みんなと同じようにできないからといって問題にある子ではない」という意識で寄り添う。

※ユニバーサルデザインを考慮した教室環境づくり

- ② 特別支援学級と交流学級との連携を重視しながら児童と保護者に寄り添う。
- ③ 児童一人一人の発達段階を考慮しながら個別の指導計画や教育支援計画を作成し、活用する。
- ④ 特別支援教育コーディネーターをはじめ、スクールカウンセラーや教育委員会等の外部関係機関との連携を積極的に行う。

(4) 道徳授業の充実…考えをもつ。表現する。 ※交換授業も検討してはどうか

- ① 校内研修の積み上げをいかし、「他人事」から「自分事」をとらえる学習スタイルを継続しながら、「道徳ノート」の積極的活用努める。
- ② 生徒指導と連携して具体的な取組を実践し、教育活動全体を通して、児童に道徳的実践力をつけ、豊かな心の育成に努める。いじめは絶対に許さない。

(5) 特別活動の充実…異学年、集団交流を 特別活動、児童提案行事

- ① 感染症の状況を踏まえながら「関わることでまとまりを生む」集団活動を工夫し、約束事の徹底と積極的にほめる取組に努める。
- ② 児童の実態を把握し、学級活動や学校行事のねらいが効果的に達成できるように準備に努め、必要に応じて内容の見直しを図っていく。

(6) 体育・保健・安全教育及び食育の充実 ★児童主体の工夫ある活動を

- ① 学校教育全体を通じた体力向上のための活動や健康の増進に努める。
- ② 日常外遊びの充実と意欲促進につなげる年間取り組み⇔体育部・運動委提案
- ② 安全配慮の徹底を図りながら、教科体育の充実に努める。
・年間指導計画の見直しと「体育ノート」を活用した評価の工夫
- ③ 児童の「自分の命は自分で守る」意識を継続的に高めていく。
- ④ 児童が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるような取組を工夫するなど、積極的に食育に取り組む。
- ⑤ 保護者と連携し、児童の健康的な生活習慣や食習慣を身につけていく。
・「早寝・早起き・朝ご飯」の推進

(7) 食物アレルギー対応の充実…アレルギー対応委員会

- ① 定期的かつ継続的な職員研修を実施する。
・学校の実態を踏まえ、柏市「食物アレルギー対応の手引」をもとにした全体研修の実施
- ② 校長、教頭、栄養教諭（調理業者）、給食主任、学級担任、養護教諭、学校医等による指導体制を整備しながら、保護者や該当児童の主治医との連携を図り、対応していく。
- ③ 栄養教諭を中心とした面談及びチェック体制の確立及び継続

(8) 研修の充実

- ① 国語科研修と授業力向上研修に取り組みながら、日常の授業を見直し、授業改善に努める。
・「何が課題か、何を学ばせるのか」「何を、どのように取り組むのか」「個々の学びをどのように支援するのか」「どのように変容（何が身についたか、何ができたか）したのか」… 必然性、具体策の重視
- ② 初任者研修や経験者研修等を計画的、効果的に実施する。
- ③ 教育課題に応じた現職教育を積極的に実施する。

- ④ 必要に応じて各種研修会に参加し、視野を広げ、専門性を高める。

(9) 学年及び学級経営の充実

- ① 育成の段階を見すえて、常に児童理解に努め、家庭と連携して児童に寄り添う。
② 学年全体の関わりとまとまりを重視しながら、個々の学級経営に取り組む。
③ 学年主任を中心に、連携を図りながら学習指導や生徒指導に取り組む。

(10) 安全管理の徹底と危機管理体制の確立

- ① 安全な教育環境を整備し、事故の未然防止に努める。
・ 毎月の安全点検と異常に気づく意識の醸成、その結果に応じた安全対策
- ② 事故後の対応の徹底に努める。
「保護者は、知らないから不安になり、知らされないことに不満を抱き、問い合わせたことに答えな
いから不信を抱く」
・ 管理職（学年）への報告、状況の確認、保護者への連絡、そしてケア
- ③ 校外学習や授業等、児童が活動する場においての適切な安全指導及び安全配慮
を行う。また児童に、危険を予測し、回避する能力の育成を図る。
・ 予察、予備実験、事前指導の徹底
- ④ 児童の「自分の命は自分で守る」意識を育みながら、実効性のある訓練の実施
や緊急対応マニュアルの点検・改善に取り組みながら有事に備える。
・ 自然災害、交通事故、不審者等による事件、感染症、食物アレルギー 等
- ⑤ 地域や保護者と連携した児童の見守り活動や交通安全対策を継続する。
- ⑥ 災害発生時の対応に関わる職員体制の見直しを図る。★**中学校区防災 9 / 1**

(11) 人権教育、命を大切にす教育、福祉教育、環境教育、キャリア教育の充実

- ① 児童や環境の実態を踏まえて、学ぶ意欲を大切にしながら、教育活動全体を通
して推進する。
- ② 「いじめは絶対に許さない」という教職員の姿勢の下、安心できる教育環境を
つくり、家庭と協力して取り組む。
- ③ SDG s 教育に総合的な学習を含む全ての教科で関係づける。
番号を表示して、意味づけを図る。

(12) 地域や保護者との連携の充実

- ① C S による富勢地域の人材及び環境資源を有効に活用し、地域全体の児童の成
長につながる取組の実践や連携に努める。
※ 4年目を迎える富勢中学校区学校運営協議会による取組（総合、生活、キャ
リア教育等とリンク）
- ② 教職員のC S への理解を進め、「地域行事でも子供を育てる」意識を持ちながら、
積極的に活動していけるようにする。4校合同夏の研修会で8月21日（予定）
- ③ 柏市「子育て広場」を活用し、保護者の意識を高め、家庭教育の推進に努める。

(13) 教職員間の連携の充実…次の時代を目指す教員につなぐ「教員はいいもんだ」

- ① 業務改善の取組を更に継続し、教職員の意識を高める。
・ 教職員の退勤時刻の意識化、要因分析。
・ 効果的な特設クラブ活動の在り方を考える。外部講師事業の利用
- ② 不祥事が起きない、不祥事を起こさない職場風土を協働の意識でつくる。
・ モラールアップの推進、互いに声をかけ合う温かい職場の雰囲気づくり
- ③ 「問題を一人で抱え込まない」職員間の連携に努める。